

【ご案内】「第 18 回大気バイオエアロゾルシンポジウム」開催について

第 18 回大気バイオエアロゾルシンポジウムを、2027 年 2 月 27 日（土）－28 日（日）に香川大学 林町キャンパス 6201 教室にて開催の予定で準備しております。

この会は、第 1 回以来、大気圏を浮遊拡散する微生物の特徴、黄砂煙霧と微生物の混合状態、微生物の長距離輸送機構、それらの微生物がもたらす各種影響などを集中的に取り上げてきており、その間にはいくつかの新しい研究の潮流を生んできました。関係する研究者の成果発表の場としてあるいは将来の研究構想の場として極めて有効に機能してきております。今回も、バイオエアロゾルの起源・発生機構や拡散メカニズムの解明、その測定手法や検出手法、国内外の乾燥地・都市部・森林や海洋での観測調査、ヒトや動物その他の健康影響、農業や漁業への影響、雲形成・降水との関わりや気候変動影響、食文化や産業との関係、天然物や遺跡の汚損などの幅広い分野を取り扱います。

アジア圏では、日本国内の複数の大学によって、中国、韓国、モンゴル、シンガポールの研究者とともに大規模な観測調査が展開され、特に、海外研究者によるバイオエアロゾルへの新規参画も目立つようになっていきます。また、国内観測サイトも強化され、全国の大学や研究機関で継続的にバイオエアロゾルの観測研究がなされています。こうして、垣根を越えた多様な研究成果が続々と報告されるようになりました。その中でも、大気中を浮遊する微生物の遺伝子情報が急増しており、その微生物の動態や影響をより詳しく理解するため、気象観測、生態観測、疫学的調査、動物実験のデータ（メタデータ）との比較が一層重要になってきております。そこで、今回は「バイオエアロゾルを取り巻く野外観測と室内実験」をテーマに掲げ、野外観測あるいは室内実験といった研究アプローチの視点から研究者がバイオエアロゾルを介して繋がれる場にしたいと思います。バイオエアロゾルの国内外での共同研究、その成果などに関心のある方は奮って参加いただけると幸いです。

また、本シンポジウムでは今年度からポスター発表の導入を検討しております。さらに、これまで無料としていた参加費につきましては、学生支援の充実を目的として 1,000 円をご負担いただくことといたしました。参加費は、学生の研究交流会費の補助やポスター賞などに充て、より多くの学生が参加しやすく、若い研究者が活躍できるシンポジウムを目指してまいります。

【第 18 回大気バイオエアロゾルシンポジウム】

日時：2027 年 2 月 27 日（土）13：00～18：00

28 日（日）10：00～16：00

会場：香川大学 林町キャンパス 6 号館 201 教室（6201 メディアルーム）

〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20

(<https://www.kagawa-u.ac.jp/20733/>)

参加費：1000 円（学生：無料）

※発表件数によっては開会・閉会時間変動する可能性があります。ご確認ください。

発表を希望される方はもちろん、聴講のみでのご参加も歓迎いたします。

【研究交流会】

日時：2 月 27 日（土）19：30～21：30

会場：海鮮居酒屋 わらじろ ※JR 高松駅から徒歩 2 分 (<https://warajiro.owst.jp/>)

参加費：5000 円（学生：2000 円を予定）

シンポジウムへの参加を希望される方は、以下の URL より参加申込をお願いいたします。研究交流会への参加についても、申込フォーム内でご回答ください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe1SCl8fSONqLFN90iUMyCsBgWo-b6W32CGNxyIKx4ZWS1eUA/viewform?usp=publish-editor>



【発表を希望される方へ】

添付の要旨サンプルをご参照のうえ、Word または PDF 形式で要旨を作成し、下記アドレス宛にメール添付でご提出ください。

hirata@life.kindai.ac.jp

=====締め切り=====

参加申込：2026 年 11 月 26 日（木）

要旨提出：2027 年 1 月 28 日（木）

=====

バイオエアロゾル研究会 代表 岩坂 泰信（環境創造研究センター）

バイオエアロゾル研究会 庶務 牧 輝弥（近畿大学）

第 18 回大気バイオエアロゾルシンポジウム実行委員会 現地実行委員長 石塚 正秀（香川大学）

連絡先：バイオエアロゾル研究会事務局

近畿大学 理工学部 平田 奈緒 (hirata@life.kindai.ac.jp)